2024年 8月 30日

一般社団法人
日本産業・医療ガス協会

JIMGA news

第83号

目　次

ISO TC220「超低温貯槽」年次会議―ドイツ・ベルリン会議参加報告 ・・・・・・・・・・ 1

高圧ガス容器全国一斉特別回収 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

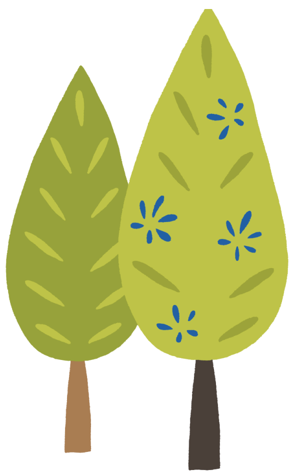
2024年度MGR導入時集合講習および今後のスケジュールについて・・・・・・・・・・ 4

炭酸ガス保安講習会の開催について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

高圧ガス取扱／譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習開催について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

ウェブサイト掲載お知らせ一覧 ―2024年6月15日~2024年8月15日掲載― ・・・・ 8

気ままにコラム ・・・ 10



©2024一般社団法人日本産業・医療ガス協会

ISO TC220「超低温貯槽」年次会議―ドイツ・ベルリン会議参加報告

2024年6月11日～12日の日程で、ISO（国際標準化機構）TC（技術会議）220「超低温貯槽」の年次会議がドイツ・ベルリンのドイツ基準協会（The Deutsches Institut für Normung e.V.：DIN）にてハイブリッド方式で開催されました。

季節柄はアジサイが咲く頃で日本と同じですが、最高気温が18～19℃と肌寒く、日本は同じ頃に30℃を超えており、日本の温暖湿潤気候とヨーロッパの西岸海洋性気候の差を感じました。また、会議の期間中にウクライナのゼレンスキー大統領がベルリンを訪問し、シュルツ首相との会談があり、街中は厳重な警備によって交通制限されていました。

会議会場―DIN（ドイツ基準協会）が入居するオフィスビル

WG1（設計と製作）およびWG3（性能と附属品）会議

6月11日に開催されたWG1（設計と製作）、WG3（性能と附属品）の会議は、フランス（対面3名、オンライン1名）、ドイツ（対面4名）、アメリカ（対面3名）、日本（対面1名、JIMGA羽坂参加）の4か国、オンラインで中国、イギリス、ロシアの3か国、合計7か国の参加がありました。さらにISO（対面4名）からの参加があり、合計19名の参加でした。

WG1会議では、前回会議議事録の採択の後、ISO/CD 20421-1「可搬式真空断熱容器パート1：設計、製造、検査、及び試験」について4月に締め切られたコメントに関する議論を行いました。アメリカ6件、ロシア1件、中国39件のコメントがあり、主に可燃性液体（液化水素を含む）の貯槽の受け入れと払い出しのバルブ設備に関する議論が行われました。

午後に開催されたWG3（性能と附属品）ではISO/CD 2449「ポンプ」、ISO 21013-1「圧力放出装置パート1：再密閉可能な圧力放出装置」、ISO 21013-2「圧力放出装置パート2：再密閉不可能な圧力放出装置」、ISO 21013-3「圧力放出装置パート3：サイズと容量の決定」について協議が行われました。

年次会議

2日目は年次会議が行われました。フランス（対面5名）、ドイツ（対面4名）、アメリカ（対面3名、オンライン2名）、日本（対面1名、オンライン2名（KHK原氏、NEDO余島氏））の4か国、オンラインで中国、イギリス、ロシア（2名）、韓国からの参加があり、これら8か国とISO（対面2名、オンライン2名）からの参加を加え、26名の参加がありました。

会議の様子

©2024 一般社団法人日本産業・医療ガス協会

2023年6月にアメリカ・マクリーンで行われた前回会議の議事録が全会一致で採択され、その後、事務局からの進捗報告が行われ、ISO 21012「ホース」が発行されたことが報告されました。また、委員会ドラフト作成前に、PWI（Preliminary Work Item：予備業務項目）として事前作成検討が可能となり、委員会審議に入る前に、議論できる制度で自動的に終了するステージが新設されたことが報告されました。

2024年のシステマテックレビューは、ISO 21014「低温断熱の性能」1件であり、10月15日に開始されることが確認されました。続いて、各WGより進捗報告、リエゾン報告（ISO TC67「液体天然ガスの断熱と装置」、ISO TC197「水素技術」、EIGA）、がありました。特に、ISO TC197「水素技術」は、組織体系の詳しい説明があり、ISO T220と関連があるWG-C（製造、貯蔵、取扱い及び配送）に含まれるWG15（ステーション貯蔵用シリンダとチューブ）、WG21（ステーションにおけるガス水素圧縮機）、WG34（水電解水素発生装置運転のプロトコルと安全）について説明がありました。最後に、ISO TC220開催に尽力されたDINに感謝し、会議が終了しました。

来年の年次会議は、2025年6月25日～26日に中国で開催される予定です。

（産業専門委員会 超低温貯槽部会 事務局　羽坂 智）

ISO TC220 全体会議の参加メンバー

ⓒ2024 一般社団法人日本産業・医療ガス協会

高圧ガス容器全国一斉特別回収

高圧ガス容器の全国一斉特別回収を今年も実施します

高圧ガス容器全国一斉特別回収は、1987年の開始以来38回目となります。回収の対象となるのは、「放置容器」（路上、河川等公共用地、容器置場に放置され、管理されていない容器）、「不明容器」（所有者、または内容物が不明で処分を依頼された容器）、「停滞容器」（ガスの有無にかかわらず各都道府県における「高圧ガス容器適正管理指針」の返却期限を経過した貸借容器）です。

特別回収期間は、2024年10月1日から10月31日までとなっており、間もなくお願い文書や実施要領、キャンペーンポスターなどの配布が始まります。

長期間放置され容器再検査が行われない容器は、いずれ腐食などの劣化で破裂する可能性がある等、保安上の問題があります。また、資源の効率的運用を図る観点からも、容器の早期回収は継続して働きかけていかなければなりません。実施する目的を何卒ご理解いただきまして、ご協力の程お願い申し上げます。

アスベストを含有する溶解アセチレン容器の回収強化について

以前より「溶解アセチレン容器をお取り扱いの皆様へ」と題し、製造から38年を経過したアセチレン容器は「充填しない、販売しない、廃棄する」お願いをしてきました。

2006年3月までに製造された容器にアスベストが使用されており、それを長い年月をかけて徐々に廃棄しようという計画でしたが、それから18年経過した現在も廃棄は進んでいない状況です。消費事業者へ出荷された容器が販売並びに製造業者へ返却されていないことが要因でもありますので、この特別回収月間に少しでも多くの対象容器が回収できますようご協力をお願い申し上げます。

（企画・事業グループ 山本 卓也）

2024年ポスター

©2024一般社団法人日本産業・医療ガス協会

2024年度MGR導入時集合講習および今後のスケジュールについて

2024年度MGR導入時集合講習を開催

「MGR導入時集合講習」は、MGR認定試験の受験要件の一つです。受験する年度を含めた 4 年以内に導入時集合講習を修了し、かつ企業内導入教育を修了すると受験資格を得ることができます。今年度は次のとおり開催しました。

◆　開　講　日　7月30日(火)・7月31日(水) 2日間（2日間受講して修了となります）

◆　会　　場　大田区産業プラザPiO４階 コンベンションホール（東京）

◆　講義内容　13講義（約13時間）

＜制度・法令＞ MGRの倫理、法規・医薬品概論、医療関連制度、PMS、添付文書

＜ 医療ガス ＞ 医療ガス(１)、医療ガス(２)

＜疾病と治療＞ 呼吸器系・感染症、脳神経系・循環器系、在宅酸素療法、麻酔、高気圧酸素治療・酸素中毒、薬理学・薬剤学

◆　受講者数　137名

2024年度MGR導入時集合講習 会場の様子

©２０２４一般社団法人日本産業・医療ガス協会

MGR認定試験・講習スケジュール

第18回2024年度MGR認定試験

◆　試験日　2024年12月1日(日)

◆　受験申込期間　2024年10月1日(火)～10月31日(木)
（MGR管理者の方がMGR管理システムからお申し込みください）

◆　プログラム

10時40分～11時00分　オリエンテーション
11時00分～12時00分 ①医療ガス
13時00分～14時00分 ②制度・法令
14時20分～15時20分 ③疾病と治療

◆　会場　5会場（札幌・仙台・東京・大阪・福岡）で同時開催
ご案内はJIMGAウェブサイトMGRのページにも掲載いたします。
https://www.jimga.or.jp/mgr/mgrschedule/

第15回2024年度MGR更新時集合講習

◆　開催日　2025年1月28日(火)～2月27日(木)

◆　会場

【全国9会場】
札幌・仙台・東京(2回)・名古屋・金沢・大阪・広島・高松・福岡
ご案内はJIMGAウェブサイトMGRのページにも掲載いたします。
https://www.jimga.or.jp/mgr/mgrschedule/

（企画・事業グループ 山本 卓也）

MGRのページはこちら↓
https://www.jimga.or.jp/mgr/

©2024一般社団法人日本産業・医療ガス協会

炭酸ガス保安講習会の開催について

近年、炭酸ガスによる事故災害は高止まり状態であり、憂慮する事態となっております。JIMGAでは、一般高圧ガスの製造・販売・消費などに伴う事故災害の撲滅を目指し、自主保安の一層の充実が必要であると考え、幅広い活動を行なっています。その一環として、炭酸ガスの性質を深くご理解いただき、炭酸ガスをより安全に有効にご使用いただくため、「炭酸ガス保安講習会」を3年毎に開催しています。

本年度はその開催年にあたり、コロナ禍の影響により、多くの地域では6年振りの対面での講習会開催となります。関東地域本部（9月3日東京・大田区）を皮切りに、各地域本部の主催で9～12月にかけて順次開催を予定しています。

炭酸ガスを取り扱う消費者、関係者の方々を対象とし、講習内容は、炭酸ガスの性質、取り扱い方法、高圧ガス保安法、ヒヤリハット事例、具体的な事故防止対策等です。講師は各地域本部の技術委員が担当します。講習内容の詳細、募集方法等は、各地域本部事務局までお問合せください。

（企画・事業グループ 事務局）

地域本部	日程	開催場所
関東	9月3日(火)	大田区産業プラザPiO
東海	9月26日(木)	ウインクあいち
近畿	10月29日(木)	大阪科学技術センター
東北	11月19日(火)	TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
中国	11月20日(水)	エールエールA館
北海道	11月28日(木)	苫小牧市民会館
九州	12月5日(木)	福岡県自治会館

※日程等は変更になる場合があります。詳しくは各地域本部へご確認ください。

申込受付中の講習会情報、各地域本部へのお問合せは以下をご覧ください。

- セミナー・イベント情報↓
  https://www.jimga.or.jp/seminar/
- 各地域本部事務局の連絡先↓
  https://www.jimga.or.jp/about/contact/

©2024一般社団法人日本産業・医療ガス協会

高圧ガス取扱/譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習開催について

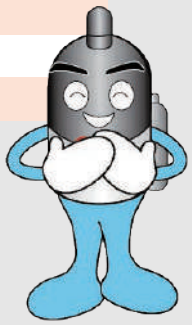
労働安全衛生法にて定められている化学物質の管理に、高圧ガス（酸素、窒素、アルゴン、ヘリウム）や、二酸化炭素等が追加されました。対象となる高圧ガスの取り扱いや配送等を行っている事業者では、各事業場での新たな化学物質管理者の選任とリスクアセスメントが義務化されます。

化学物質管理者は、化学物質管理者講習を修了した者か、それと同等の能力を有するものと定められてることから、JIMGAでは10月より、会員の皆様を対象とした「高圧ガス取扱／譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習」（6時間/対面形式）の開催を次のとおり予定しています。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

内容
関係法令（30分）
化学物質/高圧ガスの危険性/有害性、並びに表示等（90分）
化学物質/高圧ガスの危険性/有害性等の調査（120分）
化学物質/高圧ガスの危険性/有害性等の調査結果に基づく措置等、その他の必要な記録等（90分）
化学物質/高圧ガスを原因とする災害発生時の対応（30分）

日程	開催場所
10月8日(火)	東京都立産業貿易センター
10月18日(金)	静岡
10月22日(火)	仙都会館
10月24日(木)	名古屋
11月7日(木)	かながわ県民センター
11月27日(水)	千葉市生涯学習センター
12月10日(火)	さいたま商工会議所
12月16日(月)	大阪科学技術センター

※日程等は発行時点の情報です。詳しくはJIMGA本部へご確認ください。



申込受付中の講習会情報は、以下をご覧ください。

● セミナー・イベント情報↓
https://www.jimga.or.jp/seminar/

なお本講習は、高圧ガスの取扱い／譲渡提供者向けです。製造事業所は本講習の対象外のため、他団体が実施する2日間講習（12時間）の受講をご検討ください。

（企画・事業グループ 事務局）

©2024一般社団法人日本産業・医療ガス協会

ウェブサイト掲載お知らせ一覧 ―2024年6月15日~2024年8月15日掲載―

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2024年6月15日~2024年8月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→ https://www.jimga.or.jp/news/

2024.08.15　【気象庁連絡事項】台風第7号について（第3報）
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1472

2024.08.15　第27回日本医療ガス学会学術大会・総会が開催されます。
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1470

2024.08.14　職場における熱中症予防対策の徹底について
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1471

2024.08.08　日経新聞に上原会長のインタビュー記事が掲載されました！
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1468

2024.07.23　「在宅講習会」第30回受託責任者更新時講習会、令和6(2024)年保守点検従事者研修講習会開催のご案内
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1467

2024.07.18　熱中症予防の普及啓発・注意喚起について
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1466

2024.07.11　【医療機器センター】医療ガス安全管理者講習会の受付開始のお知らせ
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1465

2024.07.09　夏季の省エネルギーの取組について
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1463

2024.07.08　医療用酸素に関するアンケート調査のお願い（2024年度調査）
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1461

2024.07.05　第1回 化学物質管理強調月間 スローガン募集
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1462

2024.07.03　インフラメンテナンス大賞募集のご案内
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1460

2024.06.27　JIMGAnews 第82号発行のご案内
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1458

2024.06.24　国際整合化参考文書「治療現場での酸素の危険性緩和のための基準」(初版)発行のご案内
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1456

©2024一般社団法人日本産業・医療ガス協会

2024.06.24　国際整合化参考文書「集結集合容器（MEGCS）及び可搬式タンクの海上輸送指針」(改訂2版)発行のご案内
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1455

2024.06.24　フリーランス・事業者間取引適正化等法の施行について
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1454

2024.06.21　【気象庁連絡事項】梅雨前線による大雨について（第１報）（土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒）
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1453

2024.06.20　医療関連サービス振興会主催セミナー「コロナ禍で利用した融資返済で苦慮している中小企業経営者にお伝えしたいこと」
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1452

2024.06.18　本部事務所移転に伴う販売品発送の一部停止について
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1451

2024.06.17　6月18日からの大雨に対する警戒と安全確認の対応について
https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1450

ⓒ２０２４一般社団法人日本産業・医療ガス協会

気ままにコラム

長岡花火は日本三大花火の一つで、本年は投稿者の佐藤が還暦を迎えて地元の高校の同窓生で還暦祝い花火を打ち上げることになり、久しぶりに行ってまいりました。

長岡花火は戦前から行われていましたが、昭和20年8月1日の長岡空襲の翌年、昭和21年8月1日に「長岡復興祭」を開催、昭和22年には花火大会が復活しました。長岡花火は空襲で犠牲になった方々への鎮魂の想いが込められています。

また、2004年10月には新潟県中越大震災があり、長岡市を含め中越地方に甚大なる被害がもたらされ、多くの方々が被災しました。翌年の花火大会では、大震災に負けずに頑張っている中越地方をはじめとする新潟県全体の大勢の人々を元気付けるために、また、一日も早い復興を祈願して、世界一として誇れるような壮大な花火を打ち上げたい、という想いから「復興祈願花火フェニックス」という大がかりな花火が打ち上げられるようになりました。本年は被災された石川県の方々を支援、元気づけようとクラウドファンディングも行い、支援と特別バージョンの「フェニックス花火」が打ち上げられました。

大震災からの復興を願うフェニックス花火イメージ（左）と特別バージョン「まれぞら 能登へ届け！！」（右）
（NPO法人ネットワーク・フェニックス画像提供）

花火の紹介

（下手な写真ですみません。残念ながら撮影位置が風下で硝煙が花火を隠しています。）

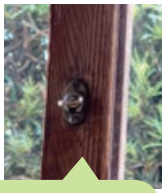
(上)ナイアガラ大スターマイン：
花火大会スタートです。大手大橋にナイアガラの様に花火が広がっています。

(左下・右下)フェニックス花火：
川の上流から下流まで9ヶ所から同時に花火が6分以上（今回特別バージョン約8分）打ち上げられます。圧倒的な光と炸裂音と音楽に心が奪われ、初めて見た時は感動で涙が出ました。

©2024 一般社団法人日本産業・医療ガス協会

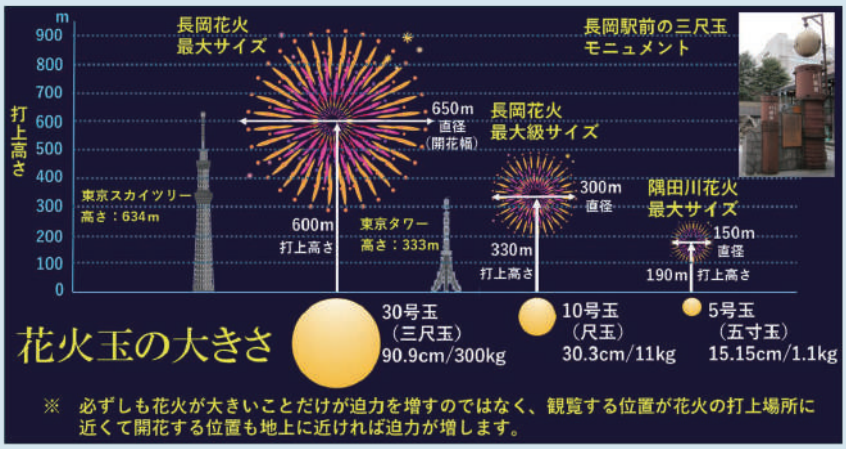
(上左・上右)超大型ベスビアス大スターマイン：
超大型といわれる花火がそれぞれ1分半ほど上がります。最初は下の方できらきらと、そして段々大きくな玉が天高く打ち上げられ、最後の方は真上に花火が上がっている感覚にとらわれます。とにかく大迫力です。

(下)正三尺玉：
日本最大級の花火。危険なので2km程上流で単独で打ち上げされますが爆音がおなかにズドンと響きます。地上から600m打ちあがり、直径650mの大輪の花が開きます。子供の頃、打ち上げ場所から4km離れた自宅の木の枠のガラス窓がビリビリ震えていたのを記憶しています。



昔はこんな鍵の付いた窓で動かすとガタガタ音がしました。

花火のうんちく 花火玉の大きさ



長岡の花火は超大型の三尺玉（30号玉）が2日間で6発ほど打ち上げられます。尺玉（10号玉）はバンバン上がり、前出の小生参加の還暦花火は尺玉が60連発上がり結構迫力がありました。東京の隅田川花火大会は川幅の問題から5寸玉（5号玉）が最大ですが、迫力が楽しめるのは近くで上がり、低い位置で花開くからです。お腹に響く迫力を楽しみたいなら、是非長岡の花火を見に来てください。

子どもの頃ですが、花火工場に見学に行ったことがあります。花火の小玉を器用に詰めていましたが、ちょっと怖かったのが道路が火薬の黒色をしていたことですね。また、火薬庫が少し離れてシェルターの様に点在し、火事の誘発をしないようにしていましたが、いざ火が付いたら大変だろうなと子供ながら思いました。

©2024 一般社団法人日本産業・医療ガス協会

花火を見るには ちょっと大変ですが感動を味わうために頑張りましょう

最近は熱狂的になってきていて、宿や観覧チケットが取れません。お金のある人は旅行会社に申し込めばいいのですが、小生のような庶民が安く観覧するのに最初にすることは、半年前からの宿とりです。今年は2日間で34万人の来場がありました。当然新潟県中の宿では足りません。県内の宿は半年前から予約が取れなくなります。小生も半年前の午前0時にとあるホテルのネット申込画面を見て予約しましたがたったの10分で枠が無くなりました。恐ろしいです。

頑張って、ホテルの確保をしてください。長岡市周辺もあっという間になくなるので、新潟市内や三条市内や越後湯沢町辺りが取れたらラッキーです。裏ワザとしては泊まらずに新幹線で帰る手があります。今年の時刻表で21時35分発なら23時16分に東京駅に着きますし、その後も21時50分、22時1分、22時16分、22時26分（この最終で東京駅は23時56分着）と東京周辺の方なら帰れます。最後の花火が21時10分の米百俵尺玉100連発となっており、長岡駅まで混雑していて30～40分かかるので余裕をもって行動してください。

では、泊りか移動手段が手に入ったら次はチケットの予約です。下記は今年の販売スケジュールです。

販売スケジュール（窓口販売・当日販売なし）

会場内の観覧にはチケットが必要です。

4月10日から4月30日まで	長岡市民先行販売 **抽選**申込受付 受付方法／専用申込はがきのみ
5月下旬以降	当選のお知らせ
5月下旬	一般販売 **抽選**申込受付 受付方法／インターネットのみ
6月中旬	当選のお知らせ

市民が優先ですが、一般販売も複数人でインターネットで申し込めばチケットの入手の確率が高まります。

あとは運頼みですが、いい場所が取れるかですね。小生はマス席をお勧めします。打ち上げ場所に少しでも近くに行くことで真上で花火が上がっているような臨場感が味わえます。

来年は家族で行こうと考えています。皆さんと会えるかもしれませんね。是非いらしてください。

（企画・事業グループ　佐藤 寿郎）

編集・発行／一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
〒105-0014 東京都港区芝3丁目43番15号 芝信三田ビル4階　TEL.03-6665-8210 FAX.03-6665-8217

©2024 一般社団法人日本産業・医療ガス協会